

第15回 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会 会議録（要旨）

開催日時	令和4年5月28日（土）午前10時30分から午前11時30分まで
開催場所	資源物中間処理施設エコプラザスリーハーモニー 2階研修室
出席者	地域住民：グランドメゾン玉川上水センタースクエア管理組合、グランドメゾン玉川上水ウエストスクエア管理組合、タカギ第2青梅橋マンション自治会 衛生組合：事務局長、計画課長、業務課長補佐 事務局：計画課主査、業務課主事
欠席者	地域住民：グランドメゾン玉川上水イーストスクエア管理組合、桜が丘森永住宅自治会、プラウド地区自治会、オーベルグランディオ東大和管理組合
傍聴者	3名
議題	(1) 資源物中間処理施設の操業状況について (2) 意見交換 (3) その他
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回運営連絡会次第 ・第15回運営連絡会メモ ・資料1-1 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年11月分） ・資料1-2 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年12月分） ・資料1-3 資源物中間処理施設の操業状況について（令和4年1月分） ・資料1-4 資源物中間処理施設の操業状況について（令和4年2月分） ・資料1-5 資源物中間処理施設の操業状況について（令和4年3月分） ・資料1-6 資源物中間処理施設の操業状況について（令和4年4月分） ・資料2 資源物中間処理施設 資源物年間搬入・搬出比較表 ・資料3-1 令和元年度 資源物中間処理施設 臭気・水質測定結果 ・資料3-2 令和2年度 資源物中間処理施設 臭気・水質測定結果 ・資料3-3 令和3年度 資源物中間処理施設 臭気・水質測定結果 ・資料4-1 令和元年度 資源物中間処理施設 作業環境測定結果 ・資料4-2 令和2年度 資源物中間処理施設 作業環境測定結果 ・資料4-3 令和3年度 資源物中間処理施設 作業環境測定結果 ・資料5-1 令和2年度 資源物展開検査結果（容リプラ） ・資料5-2 令和2年度 資源物展開検査結果（ペットボトル） ・資料5-3 令和3年度 資源物展開検査結果（容リプラ） ・資料5-4 令和3年度 資源物展開検査結果（ペットボトル）
審議経過	<p>開会 （計画課長） 令和4年4月1日付で衛生組合において、人事異動があった旨の説明を行った。</p> <p>1 あいさつ</p>

(事務局長)

第15回資源物中間処理施設運営連絡会開催に当たり、あいさつを行った。

2 議題(1) 資源物中間処理施設の操業状況について

(業務課長補佐)

第15回運営連絡会メモ等により、説明を行った。

(地域住民)

主な出来事については、当初の計画どおりに点検等を行った認識でよいか。

(業務課長補佐)

そのとおりである。設備の故障等によるものではなく、当初計画していた点検等を実施したものである。

(地域住民)

令和4年度の今後の点検等の予定について、概ねの時期が確定したら、衛生組合ホームページ等により、周知いただきたい。

(業務課長補佐)

資料に記載のあるとおりの点検を実施する予定であり、他に周知すべき点検等があれば随時、周知させていただく。

(地域住民)

資料に記載のある内容は、施設内部に関するものだが、施設外に係る点検等について何か実施する予定はあるか。

(業務課長補佐)

施設外には、計量機と植栽があり、計量機については、年に1回点検を実施している。植栽については、時期をみて衛生組合職員による剪定を行っている。

(地域住民)

臭気について、具体的な臭いはどのようなものか。

(業務課長補佐)

臭気測定士の資格を有するものが採取した空気の臭いを確認する官能試験を実施している。具体的な臭いについては、全停電の際に敷地境界南側のみ測定結果が0でなかったのは、それは施設南側にある施設から昼時に換気扇から漏れ出た調理の際に生じる油の臭いである。

(地域住民)

試料した空気を検査し、データ化して臭いがアンモニア系であるかどうかといった測定はしていないのか。

(業務課長補佐)

行っていない。東京都では、臭気指数が基準値を下回っているかが規制基準であり、臭気指数は臭気濃度をもとに算出しているが、アンモニア等の成分分析は実施していない。

(地域住民)

衛生組合としては作業環境の騒音をどの程度にしたい考えなのか。

(業務課長補佐)

作業環境管理が適切であると判断される状態の第一管理区分である。

(地域住民)

手選別室の作業環境の騒音は約85dBと高いようだが、主な騒音の要因は何か。

(業務課長補佐)

ペットボトル系統の破除袋機から手選別室のベルトコンベアにペットボトルが流れるラインが最も騒音が大きい。令和元年度の竣工当時の最も騒音があったのは、ペットボトルを落とし込むシュートに穴あけ機があり、そこにペットボトルが落ちる音であった。そこから逐次、騒音箇所を解消してきたところであり、現在は、すべての作業環境が第一管理区分となった。

(地域住民)

今までの騒音で、作業員の健康被害はあったのか。

(業務課長補佐)

健康被害は出ていない。

(地域住民)

今回の手選別室の騒音に係る対策は何を行ったのか。

(業務課長補佐)

騒音が発生する箇所をカバーで覆う対策を行った。

(地域住民)

令和4年度の予算はどうなっているのか。また、今回の会議の際に上半期の執行状況がどのようになっているのかを示していただきたい。

(計画課長)

令和4年度の資源物中間処理施設の維持管理に予算総額は2億8,281万4千円で、前年度に対して4.6%の増となっている。主な増額理由は施設維持管理委託料及び機械用消耗品費の増である。

執行状況については、今回の会議に令和3年度の決算と合わせてお示しさせていただく。

(地域住民)

今後の3年間で何か新しい事業を行う予定等はあるか。

(業務課長補佐)

当面は施設の改造といった予定はない。令和3年度までの3年間の実績を踏まえ、施設修繕の内容や実施時期等の今後15年の施設保全計画を作成する予定である。

(地域住民)

武蔵村山市の家庭ごみ有料化の実施時期は来年度か。

(計画課主査)

本年10月から家庭ごみが有料化となる予定である。

(地域住民)

武蔵村山市の家庭ごみ有料化に伴い、何か衛生組合側でごみ分別の広報をする予定はあるのか。

(業務課長補佐)

特段、特別な対応をする予定はない。

議題(2) 意見交換

(計画課長)

何か御意見等はあるか。

(地域住民)

市民から資源物中間処理施設の操業で衛生組合に意見が寄せられているか。

(業務課長補佐)

特段ない。

(地域住民)

施設保全計画を策定中とのことだが、策定した後に当該計画に沿った対策の進捗状況を本連絡会に報告いただきたい。

(業務課長補佐)

了解した。何らかの形で本連絡会に報告させていただく。

(地域住民)

資源物中間処理施設の市民の見学の受け入れは再開したか。

(業務課長補佐)

前回の会議で報告したとおり、現在も新型コロナウイルス感染症対策のため、研修室や見学スペースを活用し、作業員の休憩場所を分散しているため、見学の受け入れは行っていない。新型コロナウイルス感染症の一定の収束を捉えて再開したいと考えている。

(地域住民)

資源物中間処理施設の操業状況で現状における課題として搬入量が高止まりしているとのことだが、施設の処理能力に対しての高止まりなのか、市民からの搬出量が増加していることに対する高止まりなのか。

(業務課長補佐)

市民からの搬出量が増加していることに対する高止まりである。施設の処理能力についても、建設に当たって策定した計画どおりの処理量となっており、高止まりになっているが、施設的にはまだ処理能力に余裕はある。基本的にはペットボトル等の資源物であっても環境問題を踏まえれば減少していくことが望ましいため、高止まりを解消すると考えている。

(地域住民)

概ね稼働率は90%で通常の操業時間で処理できているが、高止まりが続くことにより、昨年度の正月に臨時で操業時間を増やすといった対応が必要となる認識でよいか。

(業務課長補佐)

そのとおりである。さらに増加傾向が続くようであれば、通常の操業時間外に施設を稼働せざるを得なくなる。

(地域住民)

ごみ置き場を見るとごみが分別されずに出されているように感じている。小平市、東大和市、武蔵村山市でごみの分別が異なっているようだが、搬入先が衛生組合なので、統一した分別方法を確立した方がよいのではないか。

また、資源物中間処理施設で分別した結果、焼却施設に可燃ごみが搬入されていると思うが、どの程度の割合が搬入されているのか示していただきたい。

(業務課長補佐)

資料1-1の記載があるのだが、「2. ベール品・残さ等の搬出」に「可燃残さ」と「不燃残さ・禁忌品」あり、「可燃残さ」の約58トンのごみ焼却施設に搬入し、「不燃残さ・禁忌品」の約1トンは不燃・粗大ごみ処理に搬入又は衛生組合で保管し、民間事業者へ引き渡し処理をしている。

(地域住民)

「可燃残さ」の約58トンは、市民が分別をより徹底すれば減らすことができると思われる。

過去の資源物中間処理施設の建設に係る説明会では、東大和市の説明では容器包装プラスチックが少しでも汚れている場合は、可燃ごみで出すように指示があった。そのため、リサイクルを推進するためには、汚れがある場合は洗って出してもらいたいとの依頼があったが、手間を考えれば可燃ごみで出す方が効率がよい。

資源物中間処理施設に搬入された「可燃残さ」の約58トンを減らすには、小平市と同程度のごみ分別マニュアルを東大和市と武蔵村山市で作成し、市民に周知すべきである。また、より「可燃残さ」を減らすのであれば、資源物中間処理施設で分別作業に当たっている職員の声を聴き、どういった不適物が混入されているのか、その不適物は可燃ごみないし不燃ごみで出すものであることを市民に周知することがごみ減量になる。

(事務局長)

容器包装プラスチックを出す際に、市民には簡単に洗い流せるようであれば、洗っていただき、資源物として出してもらいたいと依頼したのは、小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市で共通してリサイクルを推進することにしたためである。

また、小平市は資源化を推進するため、東大和市と異なり可燃ごみ袋は1リットル当たり2円に、資源袋は1リットル当たり1円の手数料と差を設けている。

加えて、小平市のごみ分別マニュアルは東大和市と武蔵村山市のごみ分別マニュアルと分別辞典を参考に独自の分別基準も含めて作成したが、概ね東大和市と武蔵村山市のごみ分別マニュアルと分別辞典に差はないが、3市ともに衛生組合に可燃ごみと容器包装プラスチック等を搬入しているので、機会を捉えて分別マニュアルを含めて、3市に話しをさせていただく。

(地域住民)

本来であれば、3市のごみ・資源物の分別方法は資源物中間処理施設が稼働する前に話しあうべきものであった。

今後のごみを減らすには、資源物中間処理施設で選別作業に当たっている職員の声

を聴いていただき、その内容をごみ分別マニュアルに反映いただきたい。

(事務局長)

3市とも、資源物中間処理施設の稼働前や国の容器包装リサイクル法の施行等に併せて事前に市民向けに説明会を地域・地区単位で開催をしている。すべての市民に参加いただいている訳ではないので、ごみ分別マニュアルで不足を補っているところであり、今後も適宜、情報共有をしながら進めさせていただく。

(地域住民)

以前、国に照会したことがあるのだが、統一したごみ分別の見解を示してはくれなかったが、概ねの分別区分は出しているのので、市民がごみ分別を理解できるようなアナウンスをお願いします。

(事務局長)

国が容器包装プラスチックのガイドラインを示していることは承知しており、市民にごみ・資源物の分別に協力いただくようアナウンスするのは3市と衛生組合に役割であるので、努力させていただく。

(地域住民)

武蔵村山市の家庭ごみ有料化に併せて、武蔵村山市のペットボトルの収集方法が変更となることで、武蔵村山市民が分別方法を間違えることが予想されるため、衛生組合から武蔵村山市に注意喚起いただくようお願いする。

(事務局長)

現在、分別の変更を説明会で行っている。小平市の家庭ごみ有料化の際では分別がされていない場合は、収集しない対応をとったところであり、それらを参考に武蔵村山市は対応していると思われるが、当組合から武蔵村山市には注意するようお願いする。

(地域住民)

ごみ分別を徹底するために、小平市のごみ分別マニュアルを3市で共有してはどうか。

また、民間事業者においてもごみの分別をしているが、事業者によってごみの分別が異なったり、分別をしても一部は分別誤りが生じているように見受けられる。ごみの分別が3市で統一されていれば少なからず、ごみの処理に要する費用が抑えられるように思われるので、難しい課題と思われるが善処いただきたい。

(事務局長)

3市ともにごみ分別マニュアル・分別辞典は当組合のごみ・資源物搬入基準をもとに作成している。品目の数が3市によって異なるが、いずれにしても本日の会議でいただいた意見については、3市にお伝えさせていただく。

議題(3) その他

(計画課長)

施設北西部の花壇については、今年度からボランティアにより花植を行っている。花植については、ひまわりや百日草を植える予定と聞いている。

	また、次回の会議については、11月26日（土）午前10時30分から本日より同様に本施設の2階研修室で予定させていただきたいが、よろしいか。
--	-----------------------------------------------------------------------

（地域住民全員）

了解した。

（計画課長）

これにて、第15回運営連絡会を閉会する。